



# 9月園だより

令和5年9月1日

目黒区立祐天寺保育園園長

連日の暑さに台風と、厳しい自然現象に見舞われた8月でしたね。プールサイドの暑さ指数計を気にしながらも存分に楽しんだ水遊び、プール遊びでした。今月は裏面にて、幼児クラスのプール遊びの様子をお伝えします。

乳児クラスは、プライバシーへの配慮として着衣のまま水遊びをおこないました。保育士は服が濡れることでの身体の冷えを気遣いながらも、子どもたちは連日の暑さに次第に大胆になっていきました。水そのものの感触を楽しむことから、色水に氷と保育士が素材を工夫することで遊びが膨らみます。先日、2歳児クラスではビニール袋が登場していました。袋に水を入れて口を結ぶと、手のひらに乗せてもグニャリと落ちる愉快的感触になりました。何とか持ち上げるとその重さもまた楽しそうです。そのうち一人の袋に小さな穴が空き、ピューっと噴出した水にも大笑いです。最後は、水入り袋をたらいに落としては大波のように上がるしぶきに歓声を上げていました。

この夏、目黒区内のプールがない私立園の子どもたちにも楽しんでもらおうと、自園のプールを数回利用していただきました。来園した子どもたちの喜々とした表情に、仲間との数少ないプール遊びをどれほど楽しみにしていたかが伝わってくるようでした。

どの子にとっても一回り遅しく、大きくなった夏でした。

さて、保育園はこれから運動会の準備が進みます。今年は数年ぶりに上目黒小学校をお借りして開催します。2歳児クラス以上でクラス競技をおこない、0歳児、1歳児クラスは自由参加となります。子どもたちの成長や頑張りを皆様と共有する場になればと考えています。

## 行事予定

総合防災訓練

中旬 避難訓練、身体計測

運動会

参加・2歳児クラス以上

(0歳、1歳児クラスは自由参加)

## 食育活動 ～育てて、収穫して、食べるまで～

幼児3クラスは、5月に土づくりをして夏野菜を植えました。りす組は、いんげん、さつまいも、うさぎ組はトマト、とうもろこしを育てて、子どもたちが毎日「大きくなってね」と話しかけながら水やりをしています。きりん組は稲、とうもろこし、トマト、ゴーヤとたくさんの種類を育てています。毎日水やりを行っていく中で、栽培物の生長もしっかり観察してきました。ゴーヤが大きくなってくると「そろそろ収穫できそうだね」と友達と話しており、収穫して匂いを嗅ぐと「苦い匂いがする」と顔をしかめています。あまり大きくならずに黄色くなったゴーヤも見つけたので、半分に切って中を観察してみると、ほんのり甘い香りが漂い「さくらんぼの匂いと同じだ」と笑顔で話していました。緑のゴーヤの味は予想通り苦く、口に入れると「苦い」と言っていました。「これを食べると元気になる」と言いながら、自分たちで育てた夏の野菜を味わっていました。



## 夏、水しぶきをあげて楽しんだプール遊びの様子です。

### 3歳・りすぐみ

初めてのプールに期待を膨らませ、プール開きの前からまるでファッションショーのようにお互いの水着を友達と嬉しそうに見せ合っていました。実際にプールに入ってみると、顔を水面に近づけることに怖さを感じている子もいましたが、水の心地よさや楽しさを感じられるようになると、「シロナガスクジラになる」「ぼくはワニ」「わたしは人魚」「カニだよ」と好きなものになったつもりで楽しんでいました。好きものになると、水中で体を動かして遊んでいる時にしぶきが顔にかかっても「楽しいー」と笑顔で言う姿もあり、プールの楽しさを味わっていました。



### 4歳・うさぎぐみ

プール開きをしてしばらくは、顔に水がかかることをためらう姿があり、貝拾いも「やらない」と端で見ている子がいました。ある日きりん組と一緒に入った時に、勢いよく潜って貝を拾う姿を目の前で見たことが刺激になったようで、挑戦する姿が見られるようになりました。保育士が「すごい、潜れたね」と声を掛けるととても嬉しそうに笑っていました。その後クラスの友達と一緒に遊んだ時にも得意そうに潜り、それを見た水が苦手な子にも刺激となり「ワニ泳ぎで拾うよ」「顎つけながらこんなに拾えた」と、少し難しいことにも挑戦しようとする姿がありました。

これからも様々な場面で「やってみよう」と心が動いた瞬間をキャッチし、大切に関わっていきたいと思います。



### 5歳・きりんぐみ

「プールでみんなが乗れる大きな船を作りたい」とみんなで話し、まずは何が水に良く浮かぶのか、身近な素材を水に浮かべて実験し、ペットボトルを使って作ることにしました。どうやってペットボトルを繋げたらいいか、話し合い試しながら船作りを進めていきました。実際にプールに浮かべてみると、途中で船が分解してしまったり、沈んでしまったりすることも何度もありました。その度に、「どうしたら壊れないかな」「どうしたら友達と一緒に乗れるかな」とみんなで試行錯誤しながら作り直してきました。「水が入るとガムテープがはがれるから、隙間ができないように貼ろう」「空気がいっぱい入っているとたくさん浮かぶから、もっとペットボトルを増やしたらいいんじゃない」「船をこいで動かす棒があったらいい」などと様々な発見やアイデアがあり、作り直すたびに船はどんどん進化していきました。船が思うように浮かんだり進んだりしたときには、みんなで大喜びでした。みんなで力を合わせて作った船に乗って遊んだことも、夏の楽しい思い出となりました。

